

第3回 元町周辺まちづくり研究会 議事録

1 日 時 令和7年6月18日(水) 15時00分～16時00分

2 場 所 兵庫県第3号館7階 参与員室

3 出席者

兵庫県	理事	木村 晶子
	総務部長	有田 一成
	まちづくり部長	松浦 純
	県庁舎整備プロジェクト室長	松井 雅伸
神戸市	理事 兼 都市局都心三宮再整備本部長	中原 信
	企画調整局長	西尾 秀樹
	建設局長	小松 恵一

4 主な意見

※ 開会あいさつ及び資料説明については省略するとともに、発言内容は一部要約しています。

<元町駅周辺のリニューアルプランの検討について>

- ・ 数回のワークショップの中で、まずは課題を洗い出すとともに地元の皆さんの思いを聞き、それらを踏まえて元町駅のあるべき姿や周辺全体の方向性を議論する。最終的に、機能配置など、駅周辺の公共空間をどのように整備していくかをリニューアルプランとしてとりまとめた。
- ・ ワークショップの議論と、県庁周辺エリアの方向性が最終的に合っていくのが望ましい。

<新庁舎整備等にかかる基本構想骨子案について>

- ・ 県庁第1・2号館、にぎわい広場のゾーンは県庁舎を中心に整備する一方で、その他の敷地は民間提案により機能を検討する。
- ・ 民間提案エリアは複数あることを踏まえ、このエリアの共通のコンセプトやデザインコードを示したうえ、事業者には提案を求める予定。
- ・ 公館は、県が所有したままカフェやレストランなどを誘致する予定。提案を求めるにあたっては、今後サウンディング調査をしながら検討する。
- ・ 都心部の樹冠被覆率が低いことから、県庁周辺整備の方向性の1つとして、緑があり、憩いくつろげる空間の要素を取り入れることが望ましい。